

CKアイソザイム測定用

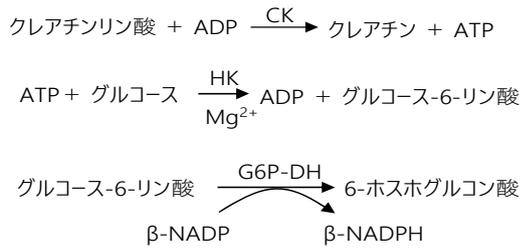
「セロテック」CK-MB

免疫阻害法：クレアチンリン酸-UV法

■特長

- ・免疫阻害法による測定法です。
- ・アスコルビン酸、ビリルビン等の共存物質は通常の濃度では影響ありません。
- ・調製不要の液状試薬です。

■測定原理



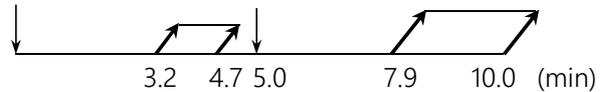
* R-1：抗CK-M阻害抗体使用

■測定条件(日立-7180の場合)

ダブルカインティックモードの場合

SAMPLE：6.8μL

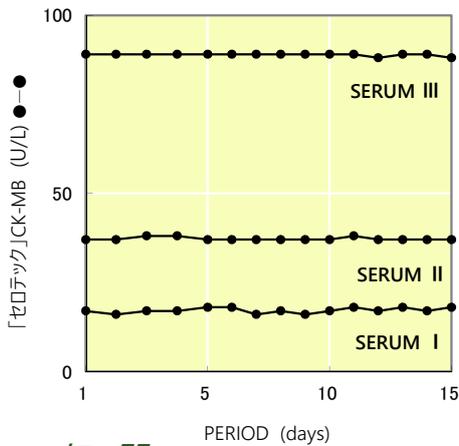
R-1：120μL R-2：30μL



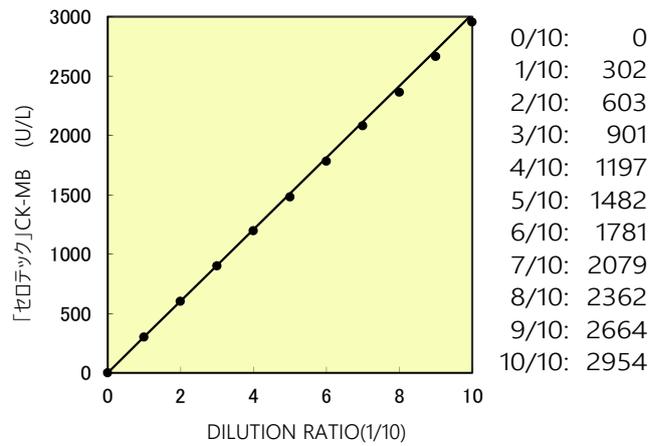
分析法：RATE A -27-34, 11-16

波長(副/主)：405/340

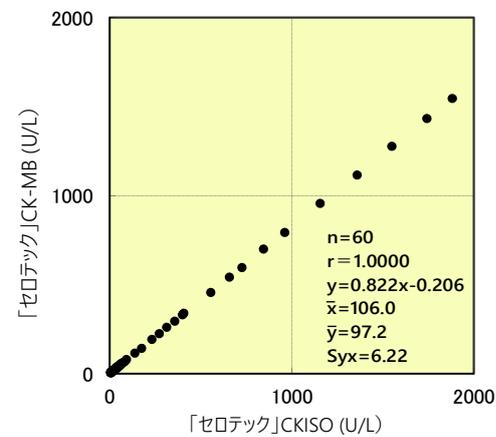
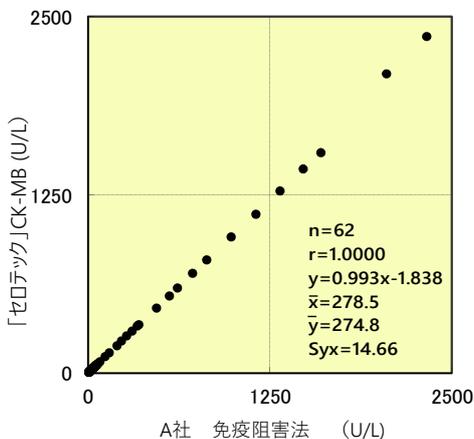
■室内再現性



■直線性

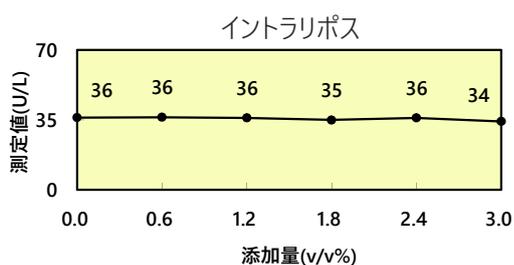
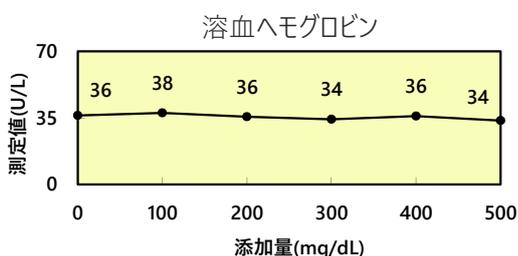
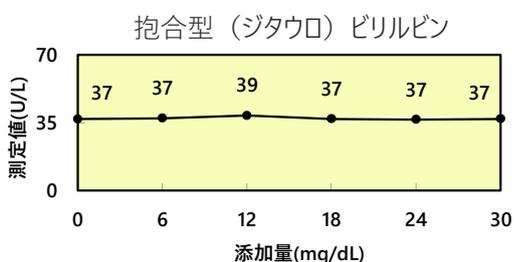
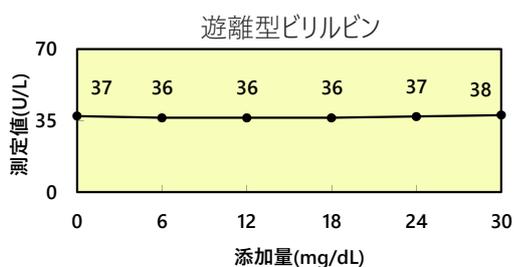
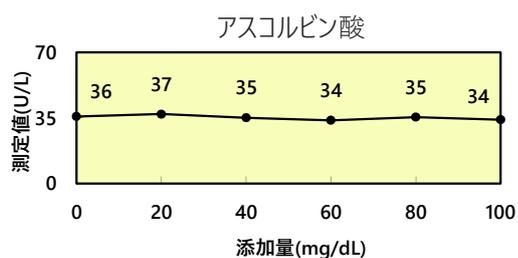


■相関



(単位:U/L)

■血中共存物質の影響



■同時再現性

	SERUM I	SERUM II
N	30	30
MEAN	16.5	30.6
MIN	15	29
MAX	18	32
R	3	3
SD	0.64	0.74
CV(%)	3.89	2.42

■包装

製品コード	製品内容	包装形態
A745-00	酵素抗体試液A 基質試液B	30+10ml×2 (Labospect)
A590-02	酵素抗体試液A	20ml×4 (R- I)
A590-15	酵素抗体試液A	60ml×2 (R- I)
A590-10	酵素抗体試液A	80ml×2 (R- I)
A590-05	基質試液B	15ml×2 (R- II)
A590-25	基質試液B	30ml×2 (R- II)
A590-20	基質試液B	40ml×2 (R- II)

■参考基準範囲

血清 CK-MB活性：2.5 U/L 以下
 (金井 他, 臨床検査法提要, 34版, 金原出版,
 p572, 2015.)

■貯法及び有効期間

2 ~ 10℃保存 製造後8ヵ月 (基質試液Bは1年6ヵ月)
 (開封後R- I ,R- II ; 1ヵ月)
 ※使用上の注意等は添付文書をご参照下さい。



お問い合わせ先 (企画開発室)
 〒062-0021 札幌市豊平区月寒西1条8丁目8-7
 TEL 011-855-1131 FAX 011-855-0143
www.serotec.co.jp